

# サステナブルファッションの推進体制

消費者庁、経済産業省、環境省の3省庁が連携し、生産・流通から廃棄・循環までの各段階に応じて、事業者及び消費者の双方に向けた取組を計画的に進めるとともに、制度面を含めた課題の整理・検討を行っていく。



事業者の取組の推進(環境配慮設計の推進・透明性の向上等)、消費者の行動変容等の実現  
ファッションロスの削減

# サステナブルファッション特設ページ



サステナブルファッション  
習慣のすすめ

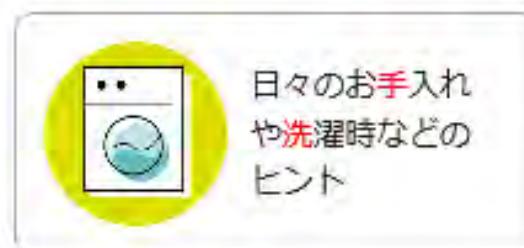
18のヒント

事業者の取組動画

サステナブルファッション・  
サポーター

皆さまの取組や工夫の紹介

## 「サステナブルファッション」に向けた消費者行動18のヒント ～服を買う時から始まるサステナブルファッション習慣のすすめ～



# 事業者の取組

○事業者においても、サステナブルファッションの推進に向けた取組が進められており、その一例を紹介。



2022.01.31 **NEW**

株式会社ウィファブリック「SMASELL (スマセル)」

ファッションを楽しみながら地球を守る、持続可能性に向き合うサステナブルアウトレットモール。最後の一点まで商品を届けたい企業と、お得に商品を購入したい購入者を繋げることで新しい販売機会を生み出し、「廃棄のない循環型社会」を目指している。



2022.01.31 **NEW**

株式会社京都紋付「KUROZOME REWEAR FROM KYOTO」

「黒に染めれば、服は生まれ変わる。」よりサステナブルな社会のために。お気に入りの一着をずっと大切にするために。「黒染」によるリウェアという選択肢を届ける。



2022.01.31 **NEW**

大丸松坂屋百貨店「AnotherADdress」

服は使い捨てではないという信念のもと、ファッションの本質的な価値、サステナブルな取り組みを重視し、社会や環境にとって持続性の高いビジネスモデルへ転換することを目指す。



2022.01.31 **NEW**

高島屋百貨店「Depart de Loop」

サステナブルな循環型社会の実現を目指す高島屋のプロジェクト。

再生繊維（再生ポリエステル）を使った服を販売し、着なくなった後に回収。

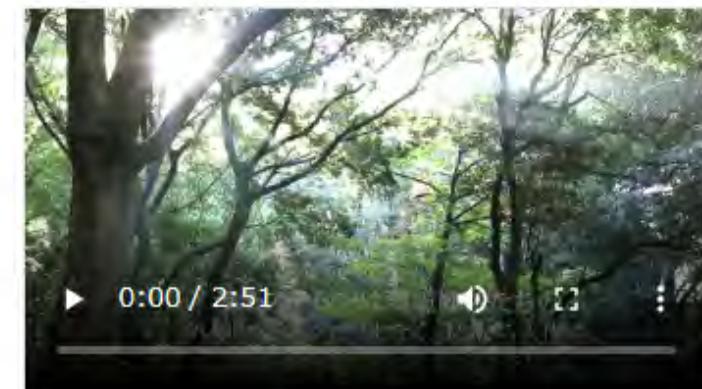
その服を繊維原料に再資源化して、何度でも新しい服に生まれ変わらせる。



2022.01.31 **NEW**

豊島株式会社「ORGABITS」

オーガニックコットンを通して、みんなで"ちょっと"ずつ地球環境と社会に貢献しようという想いから2005年に始まったプロジェクト。"ちょっと良いこと"をかたちにしていく。



2022.01.31 **NEW**

LAERSTERENN「パイナップルの葉からできたレザー風素材」

「人や動物に思いやりのあるものづくり」をコンセプトに アニマルフリーで環境に配慮した素材を用い、シンプルな機能とデザインで制作。パイナップルの葉からできたレザー風素材、Pinatex（ピニャテックス）を使用した製品を取り扱う。

# サステナブルファッション・サポーター

○サステナブルファッションに向けた取組を全国的に推進するため、サステナブルファッションの推進に賛同し協力いただける著名人・有識者等を「サステナブルファッション・サポーター」として委嘱し、サポーターを通じた消費者向けの情報発信を強化。(令和3年10月現在12名)

○消費者庁エシカルライフスタイルSDGsアンバサダーである富永愛氏にも、引き続きご協力いただく。

## エシカルライフスタイルSDGsアンバサダー

富永 愛 氏 (モデル、国際協力NGOジョイセフアンバサダー)

## サステナブルファッション・サポーター

生駒 芳子 氏 (VOGUE, ELLE元副編集長、マリ・クレール日本版・元編集長)

eri 氏 (DEPTカンパニー代表、アクティビスト)

鎌田 安里紗 氏 (一般社団法人unisteps共同代表)

川島 蓉子 氏 (ジャーナリスト)

ガンバレルーヤ まひる 氏・よしこ 氏 (お笑い芸人)

シソンヌ 長谷川 忍 氏 (お笑い芸人)

関 龍彦 氏 (講談社FRaU編集長 兼 プロデューサー)

なかやまきんに君 氏 (お笑い芸人)

美濃羽 まゆみ 氏 (手づくり暮らし研究家)

向 千鶴 氏 (株式会社INFASパブリケーションズWWD JAPAN編集統括 兼 サステナビリティ・ディレクター)

村田 邦子 氏 (kokoperi (アフリカ布作家))

# イベントの開催

## ファッションから考える サステナブルな未来

**日時** 2021年 **7/12** 月  
**13:00~15:30**

**開催方法** オンライン配信  
(申込不要)

視聴URL: <https://www.youtube.com/watch?v=kJ-ytXPRblo>  
※イベント終了後も一定期間に視聴いただけます

服が手元に届くまでの過程には、  
どんなエピソードがあるでしょうか。  
年間約50万トンの衣服が家庭から  
廃棄されている現状をご存知でしょうか。  
“サステナブル”なファッションについて  
一緒に考えてみませんか？

**プログラム**

- **開会挨拶** ミツ林 裕巳 (内閣府副大臣)  
※公開の都合により、変更の可能性が有ります  
松重 和典 (四国大学学長)
- **鎌田安里紗氏 基調講演 13:10~**  
「サステナブルファッションとは？-服と自然と社会のつながり-」
- **パネルディスカッション 13:50~**  
「サステナブルファッションと消費者の選択」  
モデレータ: 松重 和典 (四国大学学長)  
パネリスト:  
池内 計可 (IKEUCHI ORGANIC(株)代表取締役)  
大塚 桃奈 (上勝町ゼロ・ウェイストセンターCEO)  
日下部 美紀 (消費者庁新未来創造戦略本部次長)  
瀧向 貴子 (環境省中国四国地方環境事務所四国事務所長)
- **学生を交えたディスカッション 14:40~**  
「ロスから考えるサステナブルファッション」  
司会: 加藤 いづみ (四国大学短期大学部教授)  
コメンテータ: 鎌田 安里紗  
参加者:  
四国大学学生2名  
大塚 桃奈 (上勝町ゼロ・ウェイストセンターCEO)
- **閉会挨拶**  
瀧向 貴子 (環境省中国四国地方環境事務所四国事務所長)

**プロフィール**

徳島県出身。衣服の生産から廃棄の過程で、自然環境や社会への影響を懸念する“サステナブルファッション”に関する情報発信を積極的に行い、ファッションブランドとのコラボレーションでの製品企画、衣服の生産地を訪ねるスタディ・ツアーの企画などを行っている。暮らしのちいさい実験室Little Life Labを主宰。一般社団法人unisteps共同代表、環境省森里川海プロジェクトアンバサダー、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程在籍。

**主催:** 消費者庁新未来創造戦略本部・環境省中国四国地方環境事務所四国事務所 四国大学  
**後援:** ローカルSDGs四国  
**協力:** 四国環境パートナーシップオフィス、四国地方ESD活動支援センター  
**お問合わせ先:** 消費者庁新未来創造戦略本部 (電話) 088-600-0000 担当: 溝木、松岡



## ファッションから考える サステナブルな未来 ~わたしたちができること~

**日時**  
**12月9日(木)**  
**14:00~17:00**

**開催方法**  
オンライン配信 (申込不要)  
[https://www.caa.go.jp/policies/future/topics/meeting\\_006/](https://www.caa.go.jp/policies/future/topics/meeting_006/)  
※ 当日消費者庁ウェブサイトから御視聴ください。イベント終了後も一定期間ご視聴いただけます。

**イベント概要** 普段、身につけている衣服について、持続可能な社会の実現にむけ、何が出来るか一緒に考えてみませんか？

**14:45~**

- **トークショー**  
「わたしたちができるサステナブルファッション」  
<コーディネーター>  
一般社団法人unisteps共同代表 鎌田 安里紗  
<ゲスト>  
株式会社メリカリ  
ブランディングコミュニケーション担当 上村 一斗  
デプトカンパニー 代表/アクティビスト eri  
上勝町ゼロ・ウェイストセンター CEO 大塚 桃奈  
株式会社Shoichi 代表取締役CEO 山本 昌一

**16:30~**

- **サステナブルファッションショー**  
エシカル消費特設サイト「サステナブルファッション習慣のすすめ」の“18のヒント”を参考に、サステナブルファッションの具体的なコーディネートを御紹介します。コーディネートの意図、背景、サステナブルな観点を中心に、学生へのインタビューを通じて深く掘り下げていきます。  
<出演・演出>  
大阪モード学園  
ファッションデザイン学科 ファッション技術学科  
スタイリスト学科 メイク・ネイル学科

**コーディネーター**  
一般社団法人unisteps共同代表  
鎌田 安里紗 氏



※後援: 経済産業省、環境省、徳島県

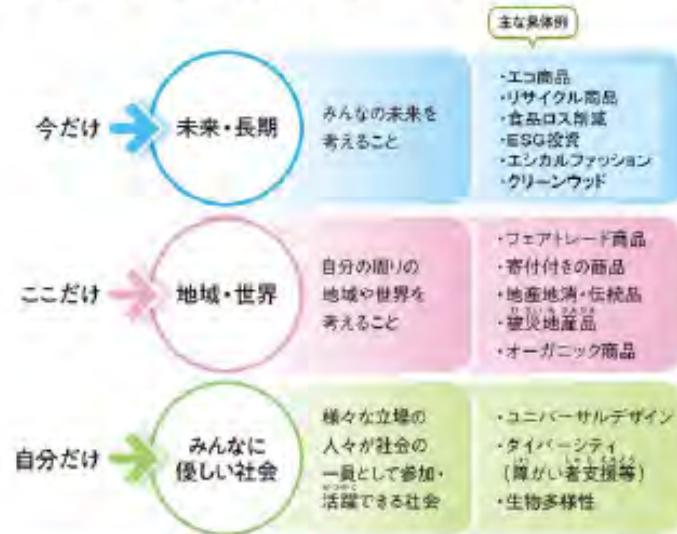
# エシカル消費に関するKPIについて

## ○消費者基本計画工程表概要(抜粋)

### エシカル消費の普及啓発

- ・プラスチックごみ問題、食品ロス、地球温暖化等
- ・消費者一人一人が、「今」の「自分」にとって必要な消費ではなく、「未来」や「地域・世界」を大切にす消費へ

- 人や社会・環境に配慮して消費者が自ら考える賢い消費行動（いわゆるエシカル消費）を普及啓発。
- 持続可能性に配慮した商品が正当に評価される社会の実現に向けた取組を推進。
- 食品中の放射性物質に関する消費者の正しい理解を推進、被災地産品の消費を促進。



KPI エシカル消費の認知度 (H28.12 : 6% → R4 : 30%)  
【R2.2 : 12.2%】

(出展)消費者庁「消費者基本計画工程表改定個別施策例」より抜粋。

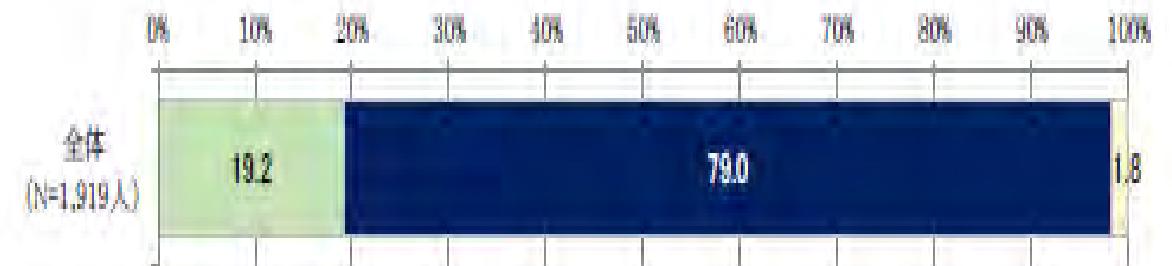
## ○物価モニター調査(令和3年10月)

問4 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比較して、エシカル消費に関するあなたの関心の度合いの変化について、最も当てはまるものを1つ選んでください。



■ 感染拡大前と比較して関心が高まった ■ 感染拡大前後で変わらない □ 感染拡大前と比較して関心が低くなった

問5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比較して、エシカル消費に関するあなたの取組状況の変化について、最も当てはまるものを1つ選んでください。



■ 感染拡大前と比較して実践の機会が増えた ■ 感染拡大前後で変わらない □ 感染拡大前と比較して実践の機会が減った

(出展)消費者庁「物価モニター調査(10月確報)」より抜粋。